

令和5年度渡島地区の研究活動

研修部長 木古内町立木古内小学校

校長 蛭子友正

1. はじめに

渡島小中学校長会は、渡島管内の中で、函館市を除く、1市9町の公立小中学校に所属する56名の会員で組織されている。年1回の全体研修会をその年度によっては、Webでの開催としたり、参集型での研究大会の開催としたりすることが決まっている。本年度には、道小大会渡島・北斗大会を運営した。今後も渡島及び全道の教育の維持向上に向け、研鑽に努める。



◇第5回渡島校長会研修部会◇

2. 研究計画

(1) 研究の方針

- ①渡島小中学校長会の運営方針に基づき、未来を切り拓き豊かな社会を自らの力で創り出す児童・生徒の育成を目指し、校長としてのリーダーシップの発揮や子どもに身に付けさせたい資質・能力の育成を目指した学校経営の改善・充実に資するための研究を積み上げ集約する。
- ②渡島小中学校長会の歴史と伝統を踏まえながら、時代の変化を敏感に捉えた研究を推進する中で、道小、全連小、道中、全日中等の研究大会への積極的な参加を図り、管内教育の充実につなげる。

(2) 研究主題

①基本主題（令和4年度策定 2か年継続研究）

「未来を切り拓き 豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」

②副主題及び研究課題（小学校 中学校）

「新たな時代を担う 令和の日本型学校教育を推進する学校経営」

【小学校研究課題と研究の視点】

研究課題：「様々な危機への対応、未然防止の体制づくりと校長の在り方」

研究の視点：「危機管理に即応する体制づくりと適切な連携の構築はどうあるべきか」

【中学校研究課題】

研究課題：「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成」

研究の視点：「新たな学校文化を形成し、教員の意識改革を推し進める校長の在り方」

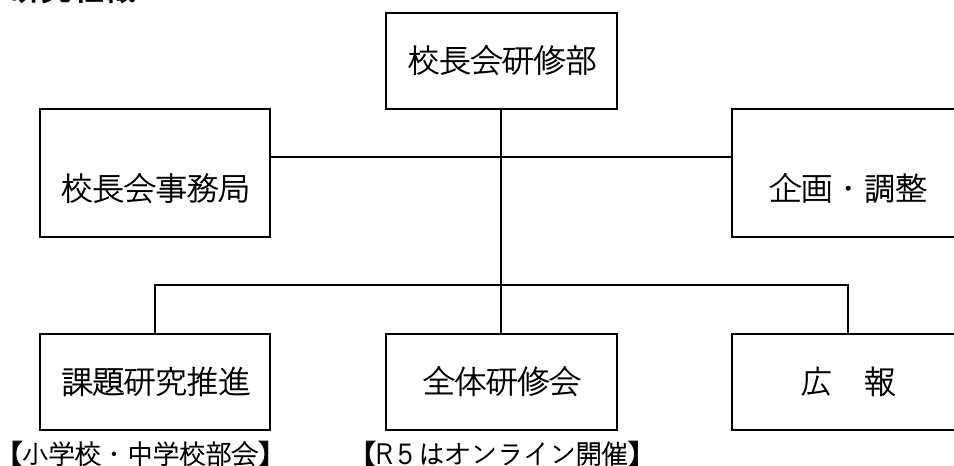
(3) 研究推進と事業計画

- ①全会員が研究主題を自らの課題としてとらえることが大切である。
- ②研修部の課題別研究は、小学校部会と中学校部会に分かれて、それぞれのタイムリーな課題の解決に向けて組織的、計画的に研究を推進する。小学校部会においては令和7年度全連小研・九州大会の研究発表まで当分、研究発表が無い場合独自の研究に取り組む。また、中学校部会においては令和5年度全日中研・九州大会の第7分科会の研究発表に向けて、意図的・計画的に準備を推進していく。
- ③課題別研究の小学校部会・中学校部会ともに、研究紀要において、研究の成果と課題を発表し、渡島全体での情報の共有と進化に努める。

3. 研究活動の概要

- (1) 令和5年度研修部の全体計画の推進
- (2) 令和5年度全道小における実行委員会への参加と道小渡島・北斗大会の運営
- (3) 第18期2か年継続研究2年次研究の推進
- (4) 課題別研究（小中別）の推進と全日中大会提言への準備
(第75回全日本中学校長会研究大会 九州・大分大会にて発表予定)
- (5) 研修部通信の発行（年1回：第56号）
- (6) 全連小、全道小、全日中、全道中研究大会等への参加及び情報収集・提供、各種調査物のとりまとめ

4. 研究組織



5. おわりに

我々校長は、学習指導要領改訂の趣旨を十分に踏まえ、これらの課題解決に向け確固たる教育理念と信念やビジョンをもち、新たな教育課題を捉え強いリーダーシップを発揮していかなければならないと考える。なお、研究期間については、着実な成果を挙げるため2か年継続研究とするが、時代の要請を見ながら単年度ごとに追加変更を行っていきたい。